

世界が 懸念していること

2023年10月



GAME CHANGERS



世界が懸念していること

イプソスが毎月実施している「世界が懸念していること調査（What Worries the World）」では、世界29カ国で現在最も重要な社会問題や政治問題は何であると考えているのかを調査し、最新のスコアとその背景を10年分のデータをもとに探ります。

この**グローバルサマリーレポート**では、世界中で最も懸念されていることを、自国が正しい方向/間違った方向のどちらに進んでいるかという人々の意見と共にご紹介しています。

各国および各懸念事項の調査結果の詳細は、www.ipsos.com でもご覧いただけます。

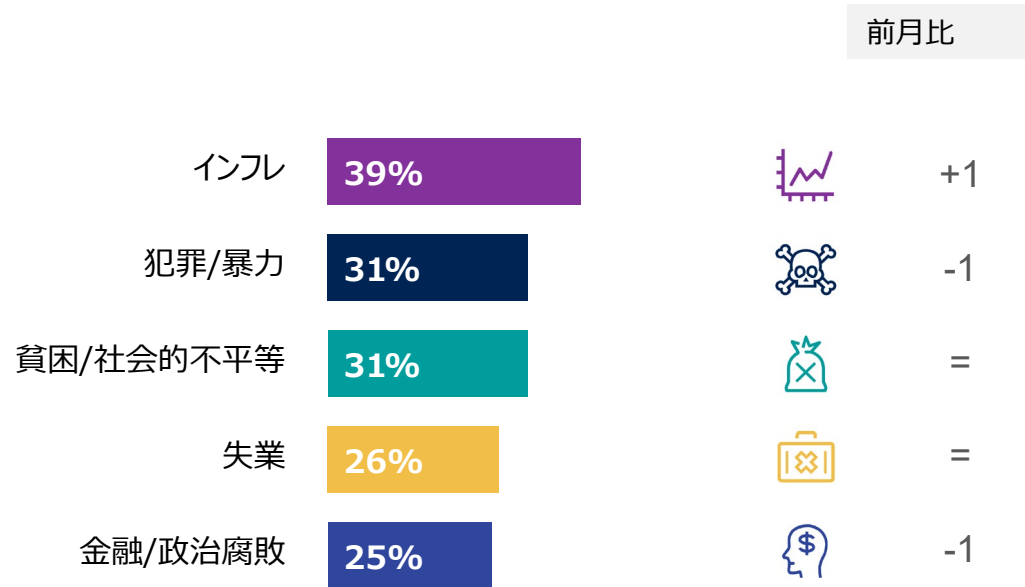
詳しくは Teodros.Gebrekal@ipsos.com までご連絡下さい。



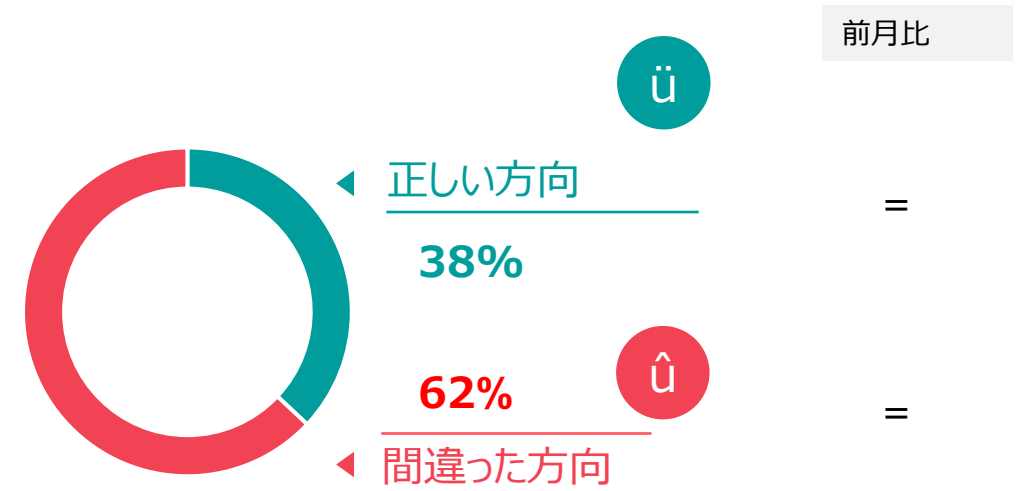
世界が懸念していること 2023年10月

インフレは19ヶ月連続で世界の懸念事項のトップとなっており、29カ国のほぼ10人に4人（39%）が自国の最大の懸念事項として挙げています。残る上位4つの懸念事項は先月から大きく変化しておらず、犯罪/暴力、汚職はともに1ポイント減少しています。自国は正しい方向に向かっていると回答した割合に変化は見られません。

Q 次のうち、自国で最も懸念されている3つは何ですか？



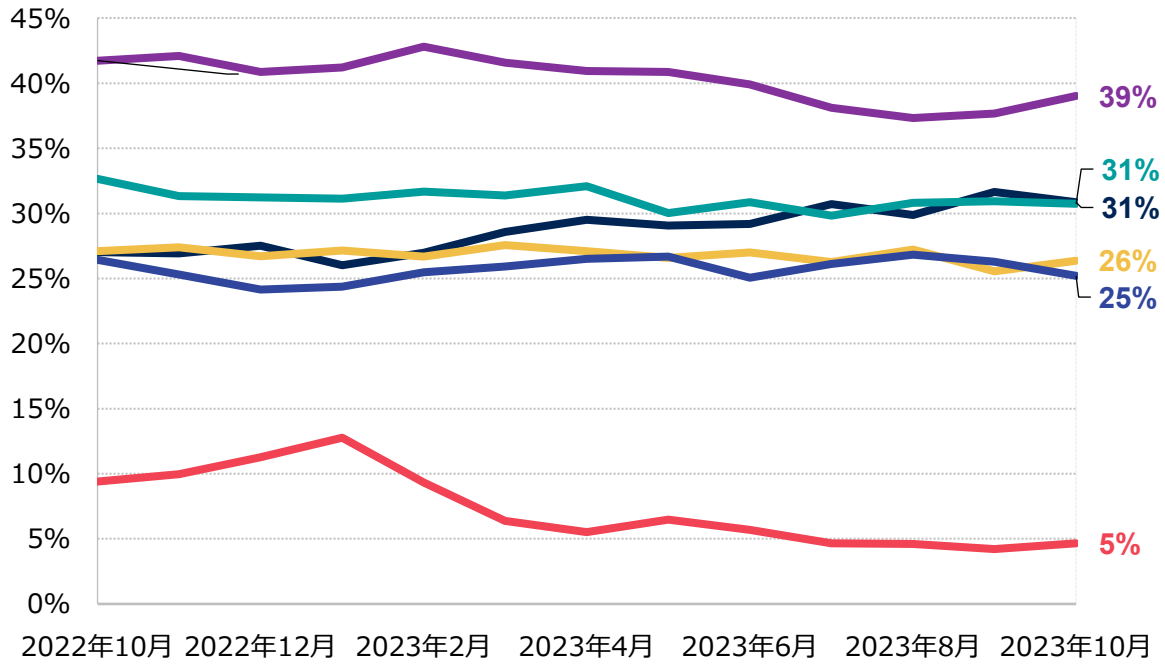
Q 自国は正しい方向に向かっていると思いますか、または間違った方向に進んでいると思いますか？



ベース：調査対象29カ国の16～74歳の代表サンプル、25,220人。2023年9月22日～2023年10月6日に調査。
出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

世界が懸念していること 12カ月のトレンド

Q 次のうち、自国で最も懸念されている3つは何ですか？

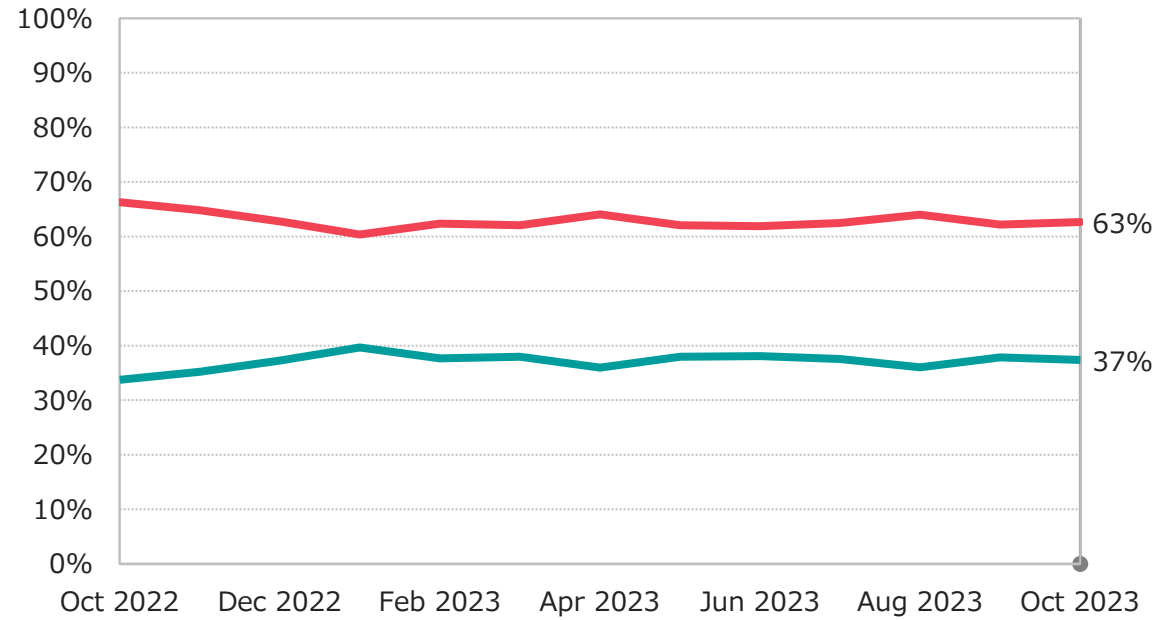


📈 インフレ
💀 犯罪と暴力
👛 貧困と社会的不平等
👛 失業
💰 金融/政治腐敗
⚠️ コロナウイルス
今月17位

ベース：調査対象29カ国の16～74歳の代表サンプル、25,220人。2023年9月22日～2023年10月6日に調査。
 出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

4 © Ipsos | 世界が懸念していること

Q 自国は正しい方向に向かっていると思いますか、または間違った方向に進んでいると思いますか？



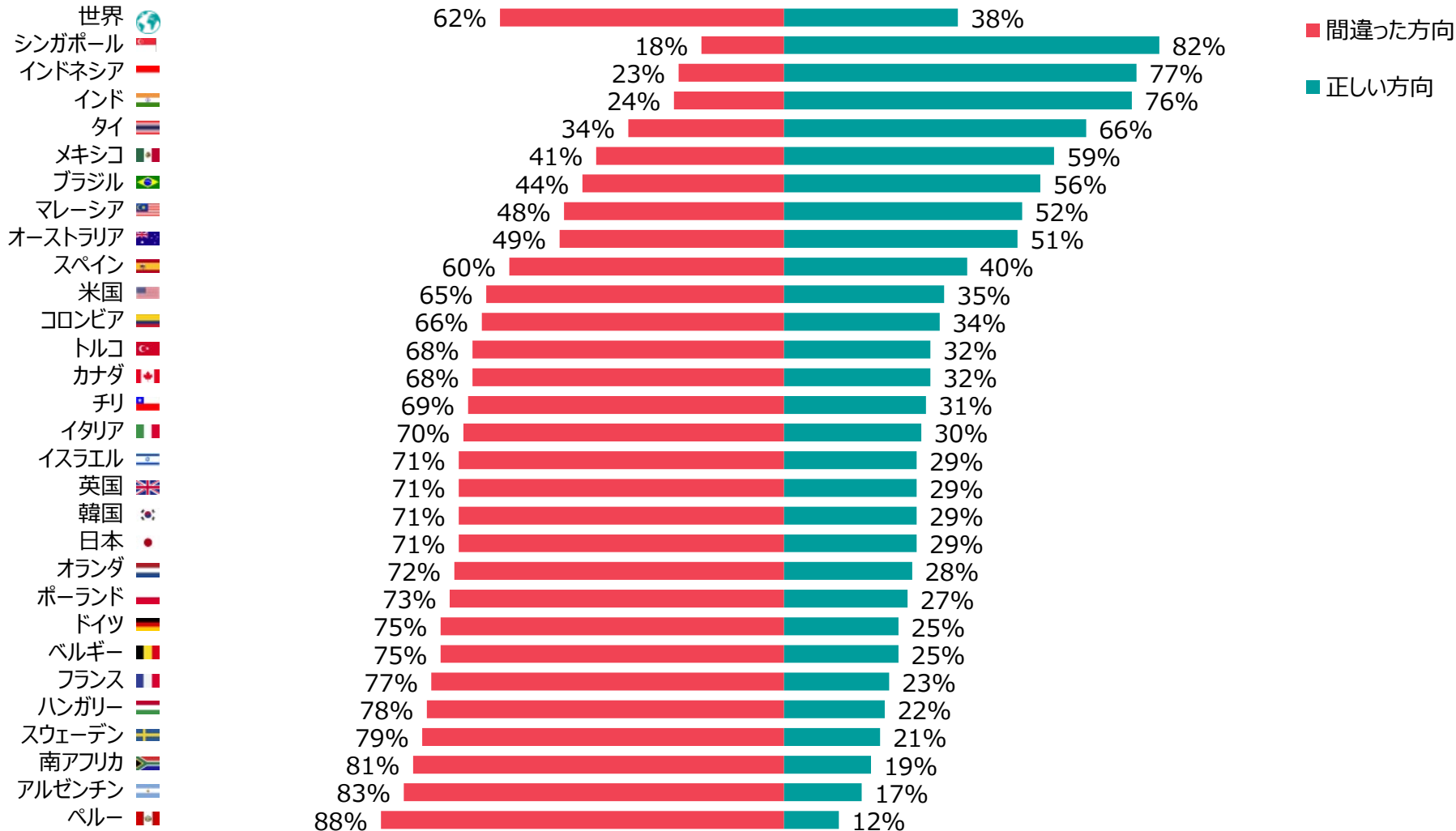
■ 正しい方向性
■ 間違った方向



各国が進む方向性 全29カ国

正しい方向/間違った方向

Q 自国は正しい方向に向かっていると思いますか、または間違った方向に進んでいると思いますか？（2023年10月）



先月と変わらず、ほぼ10人に4人（38%）が、自国は正しい方向に向かっていると回答しています。世界的に見ると、昨年と同月と比べ人々は前向きになっていると言えます。2022年10月には、34%が自国での生活に満足していると回答していました。

今月は2カ国が過去最低のスコアを記録しました。カナダでは、正しい方向に向かっていると答えたのはわずか32%でした。一方ドイツでは25%が自国の状況を同様に捉えており、これは先月の過去最低スコアに匹敵します。

一方トルコは順位を上げており、32%が正しい方向に進んでいると回答しています。今年の初めから10ポイント近く上昇しています。

ベース：調査対象29カ国の16～74歳の代表サンプル、25,220人。2023年9月22日～2023年10月6日に調査。

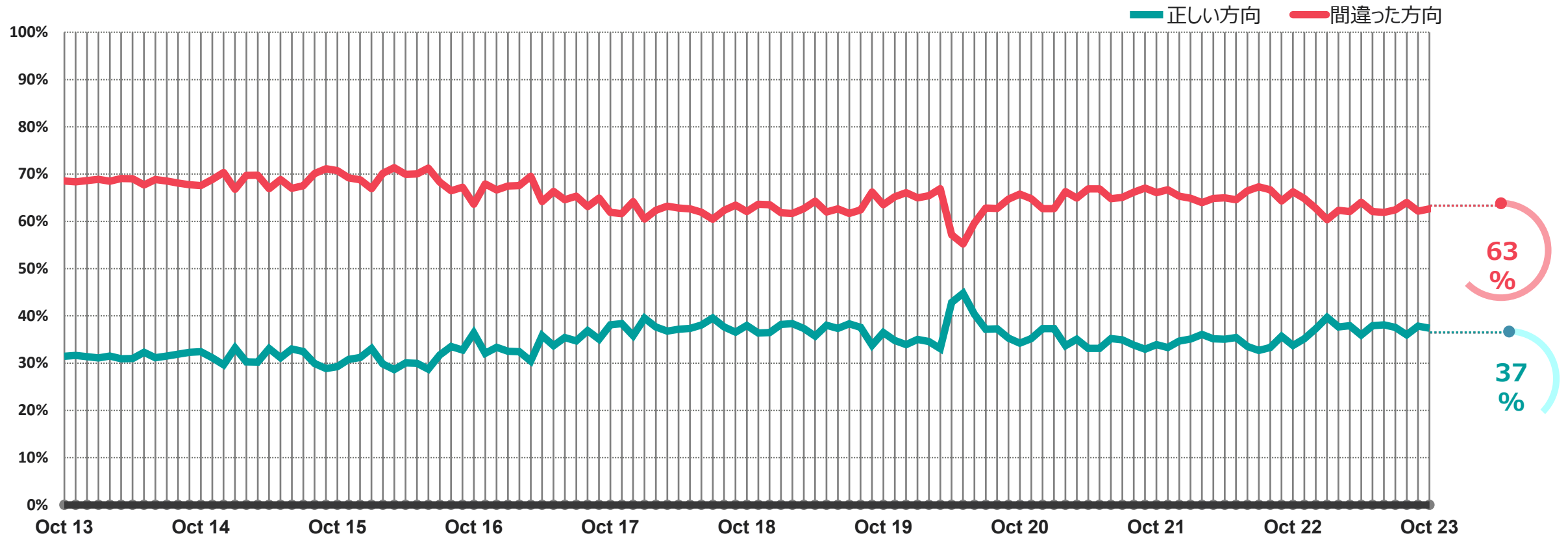
出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Filter: Country: World | Current Wave: Oct 23



世界における、正しい方向/間違った方向

Q 自国は正しい方向に向かっていていると思いますか、または間違った方向に進んでいると思いますか？



ベース：調査対象29カ国の16～74歳の代表サンプル、25,220人。2023年9月22日～2023年10月6日に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

7 - © Ipsos | 世界が懸念していること

Filter: Country: World | Current Wave: Oct 23



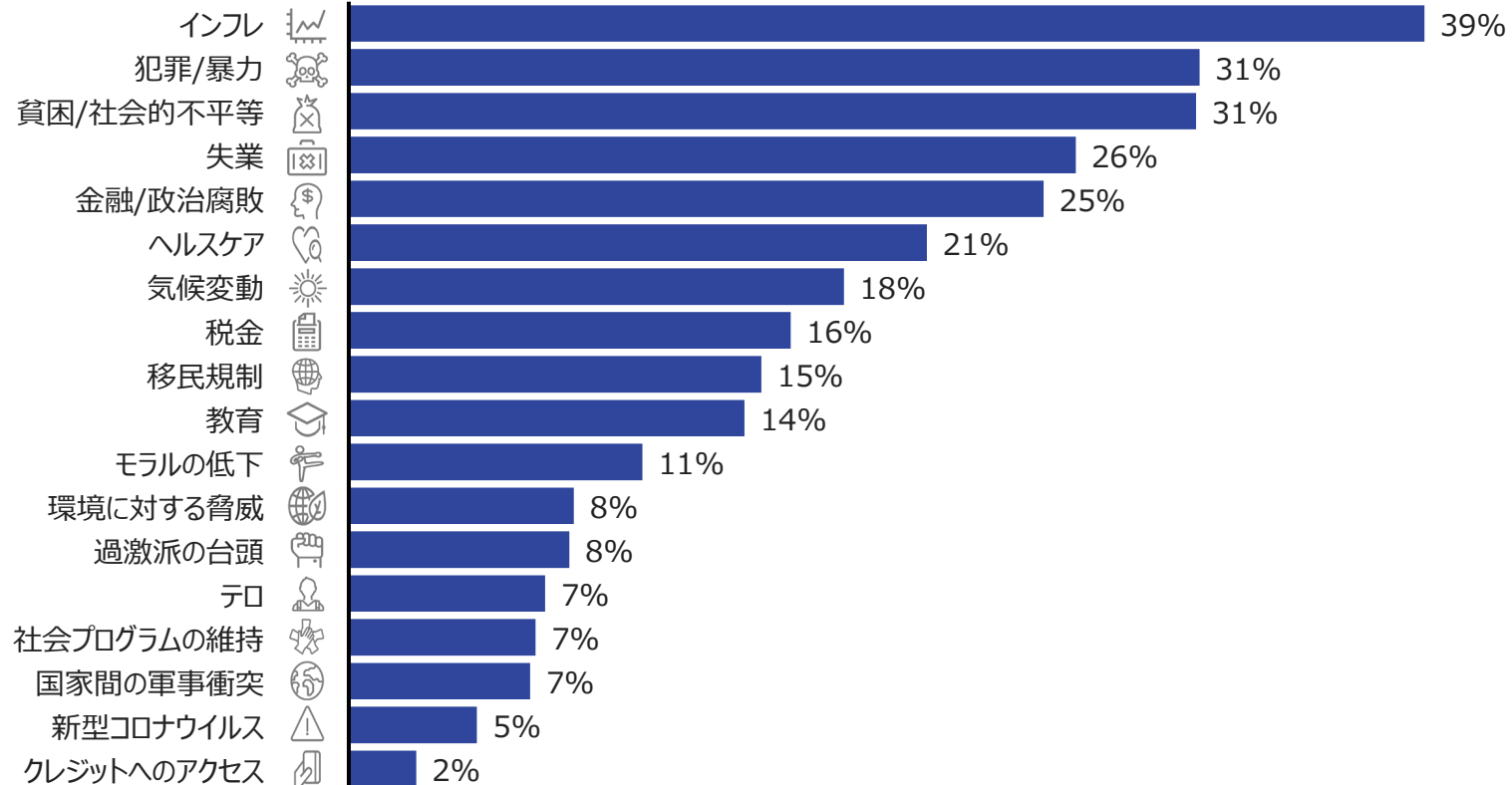
世界が懸念していること ランキング上位の懸念



世界の懸念事項：全18項目

Q 次のトピックのうち、あなたの国で最も懸念されていると思うものを3つ選んでください

2023年10月の回答 世界各国平均 (%)



世界が懸念していること調査では、インフレが19カ月連続で最大の懸念となっています。29カ国でほぼ10人に4人（39%）が主要な懸念事項だと回答しています。

残る上位4つの懸念事項は、先月からほとんど変化は見られません。犯罪/暴力、金融/政治腐敗はともに1ポイント低下し、不平等と失業は横ばいです。

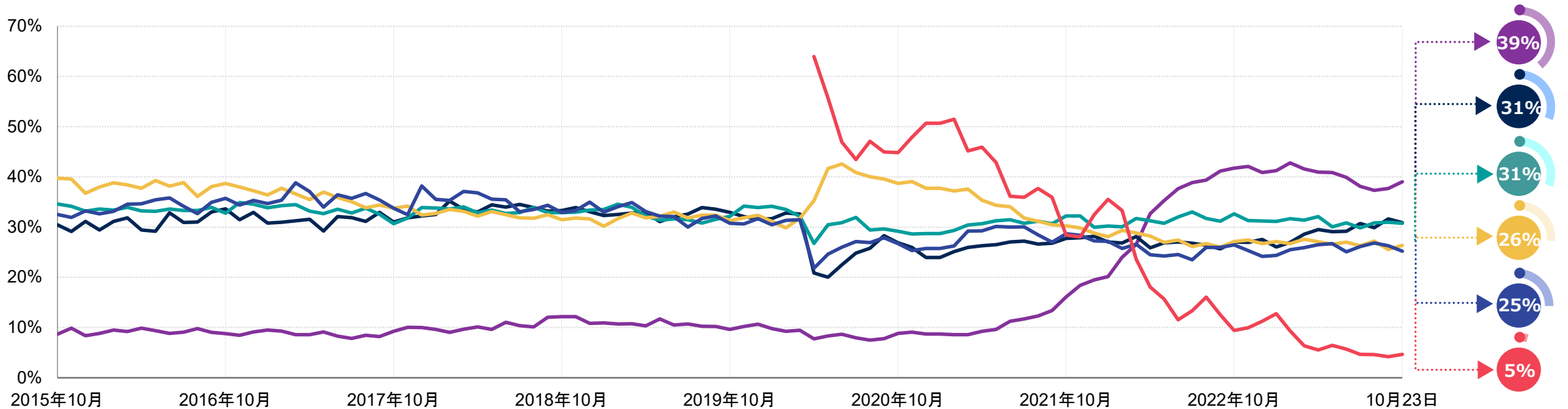
移民規制は今月2ポイント上昇し、2020年3月以来、世界的に最も高い懸念レベルとなりました。

ベース：調査対象29カ国の16～74歳の代表サンプル、25,220人。2023年9月22日～2023年10月6日に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

世界の懸念事項：長期トレンド

Q 次のトピックのうち、あなたの国で最も懸念されていると思うものを3つえらんでください。



インフレ

犯罪/暴力

貧困/社会的不平等

失業

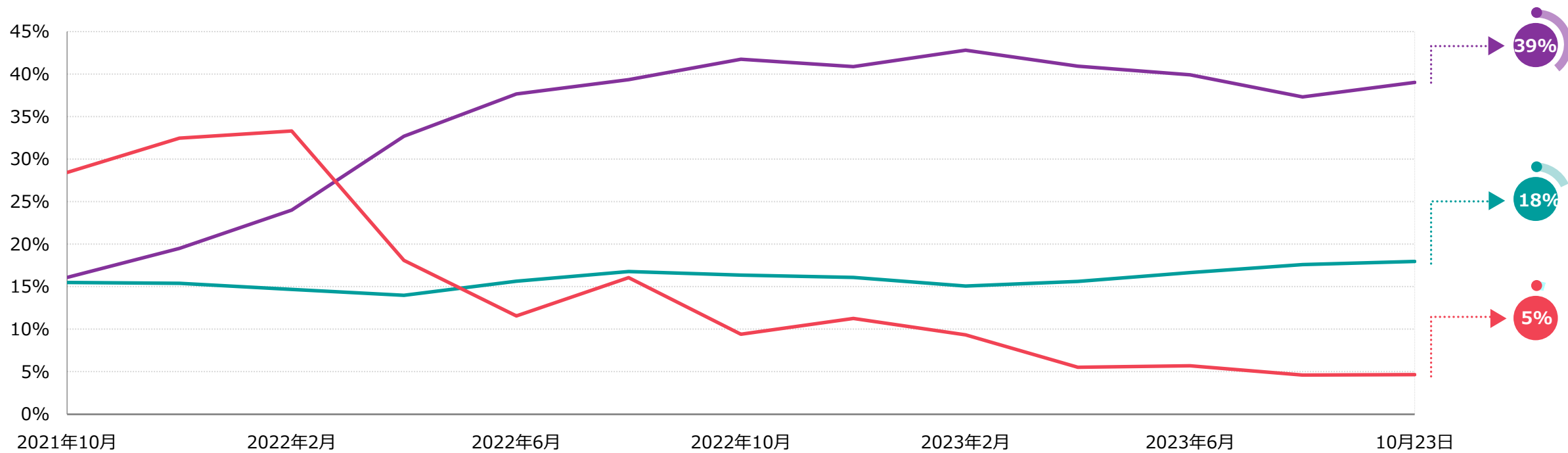
金融/政治腐敗

新型コロナウイルス

ベース：調査対象29カ国の16～74歳の代表サンプル、25,220人。2023年9月22日～2023年10月6日に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

世界の懸念事項：長期的なトレンド (インフレ、気候変動、新型コロナウイルス)



インフレ

気候変動

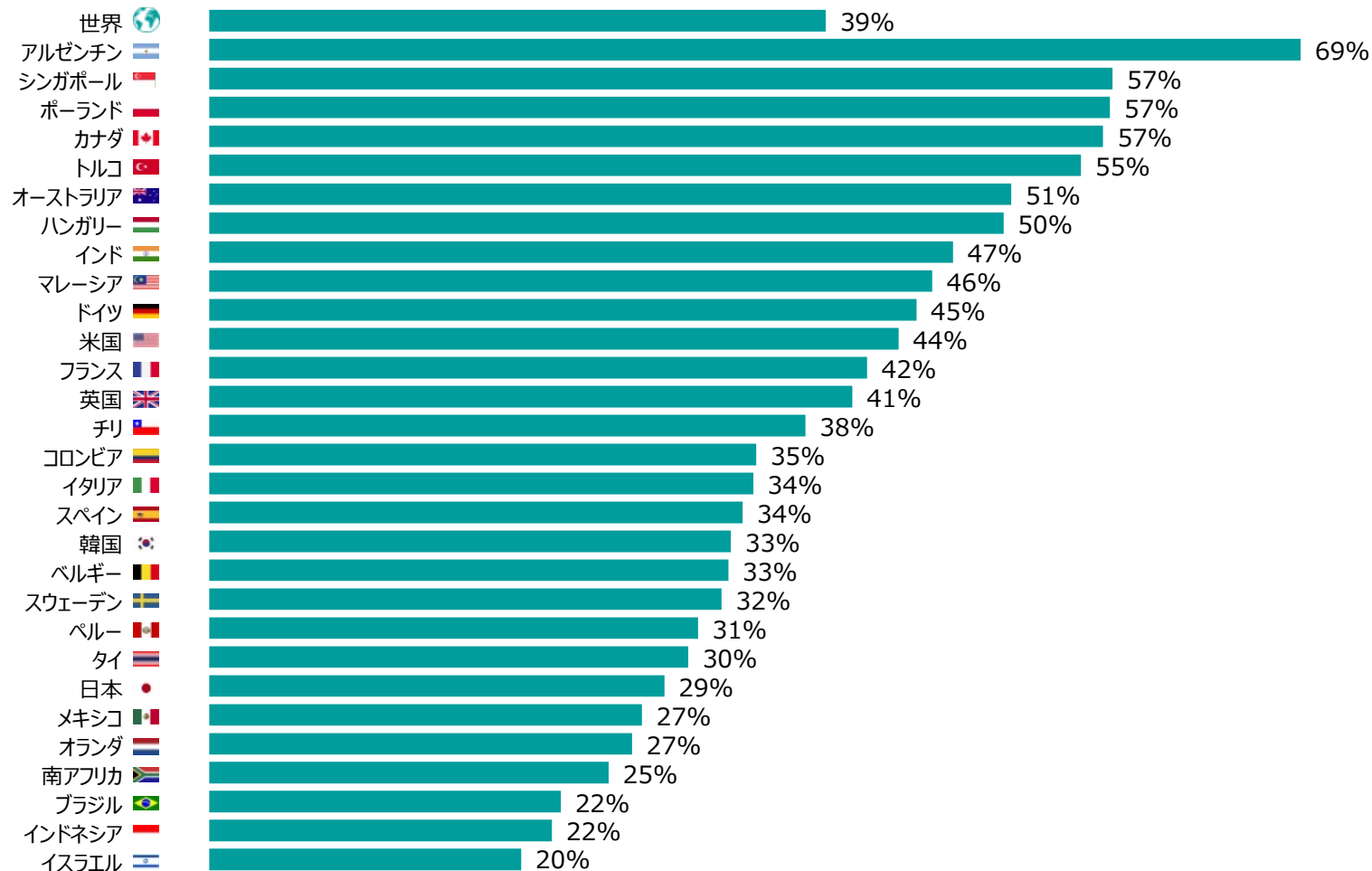
新型コロナウイルス

ベース：調査対象29カ国の16～74歳の代表サンプル、25,220人。2023年9月22日～2023年10月6日に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

出典：グローバルアドバイザー調査。新型コロナウイルスは2020年4月に調査に導入。

1 | インフレ



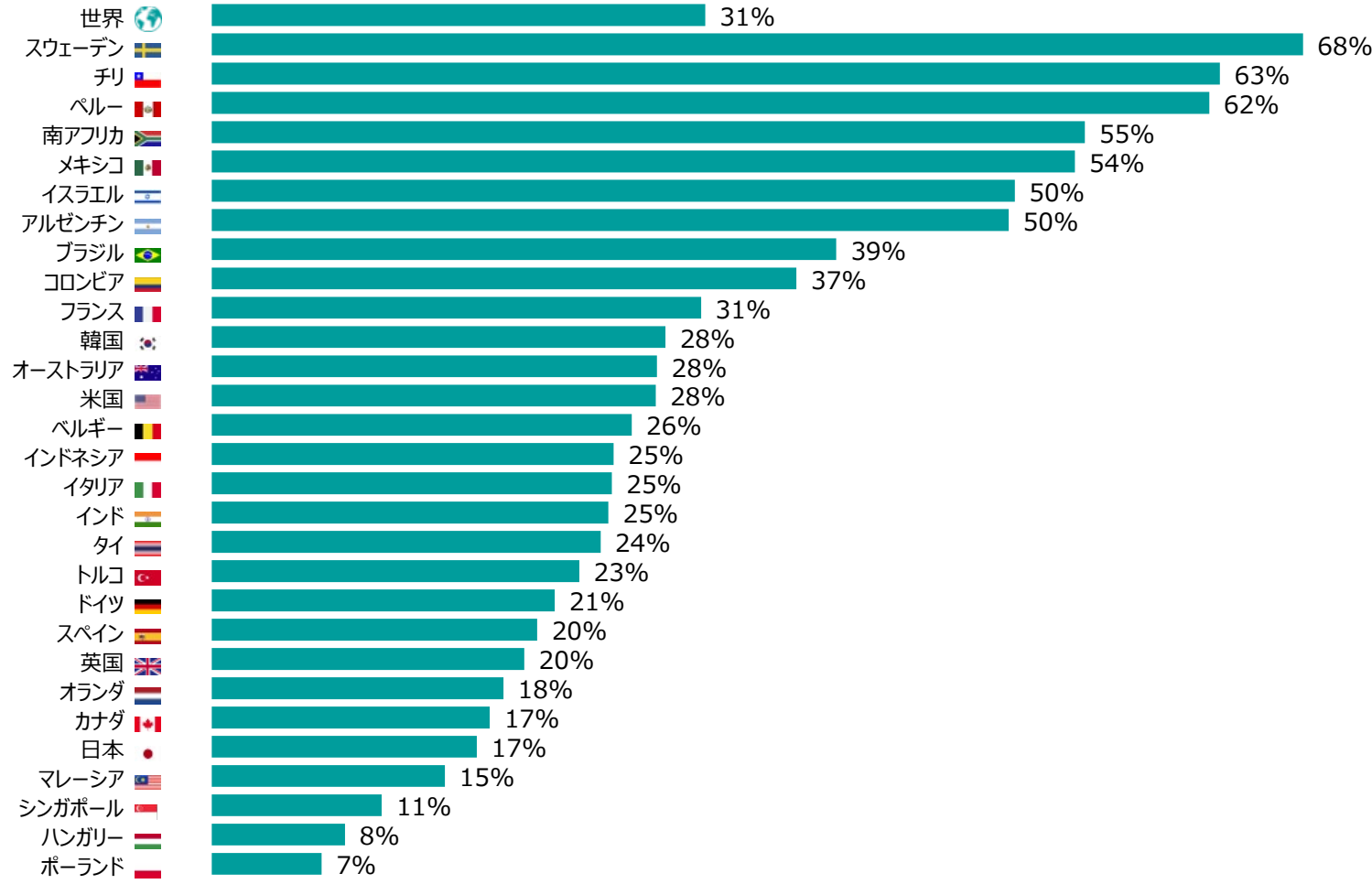
29カ国のほぼ10人に4人（39%）が、インフレを自国が直面する最大の懸念事項の一つに選んでいます。

世界的なインフレへの懸念は、2月に43%となりピークに達しました。それ以降、10人に4人が今年の課題として挙げるなど、高レベルで推移しています。

最も懸念しているのはアルゼンチンで、先月から3ポイント上昇しています（69%）。アルゼンチンの人々は一貫して懸念を抱き続けており、過去11ヶ月間においてトップの懸念事項となっています。

今月は、アルゼンチン、オーストラリア、カナダ、フランス、ドイツ、インド、ポーランド、シンガポール、米国、トルコの10カ国がインフレをトップの懸念事項に挙げています。

2 | 犯罪/暴力



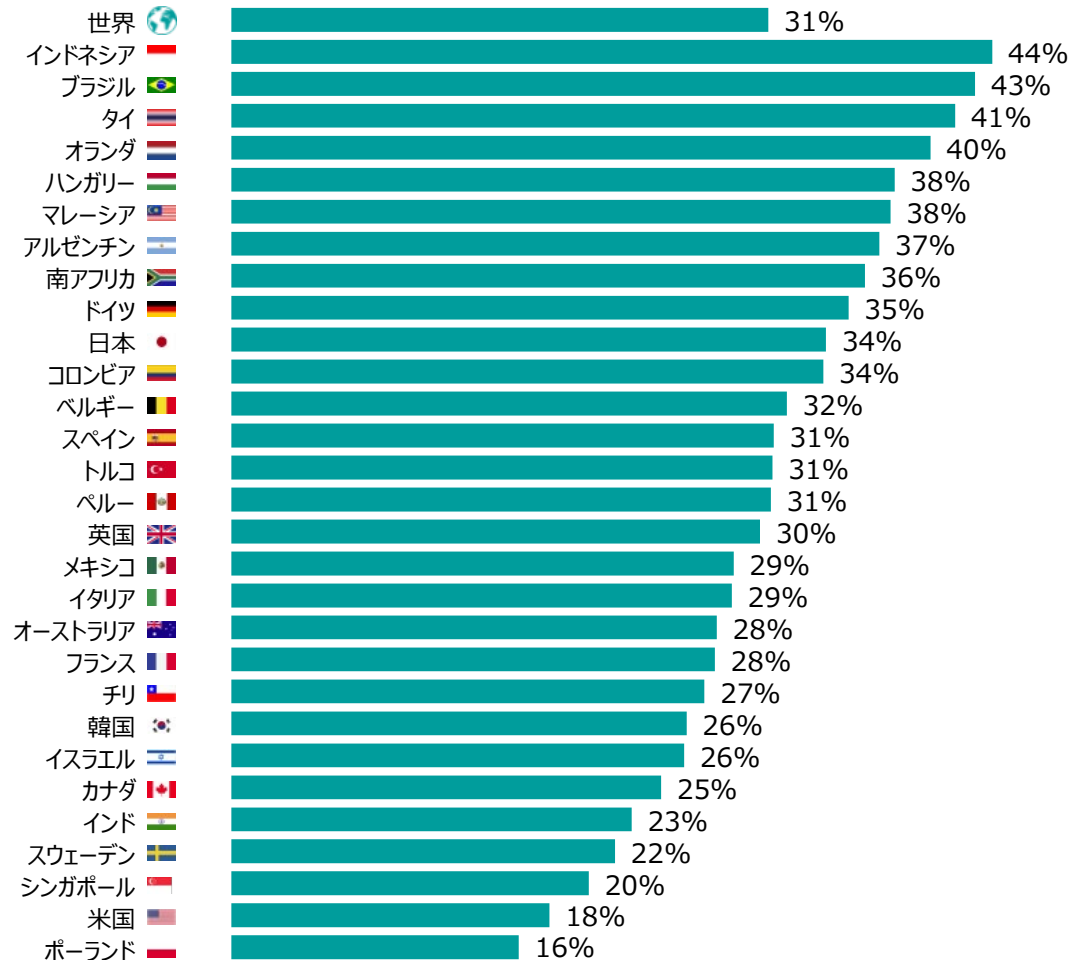
29カ国で3人に1人弱（31%）が犯罪/暴力を自国での懸念事項に挙げています。

スウェーデンのほぼ10人に7人（68%）が犯罪/暴力について懸念しており、先月から11ポイント急増しました。同国がこれほど高いスコアを記録したのは、今回の調査で2度目です。前回は2年前の2021年10月でした。なお、調査は ベルギーでのテロ が起きる前に行われました。

先月の急騰の後、韓国（28%）は14ポイント減少しました。急騰した9月のスコアを除けば、これは2019年6月以来の高水準となります。

回答者の半数以上が犯罪/暴力を最大の懸念事項としている国は6カ国あります。

3 | 貧困/社会的な不平等



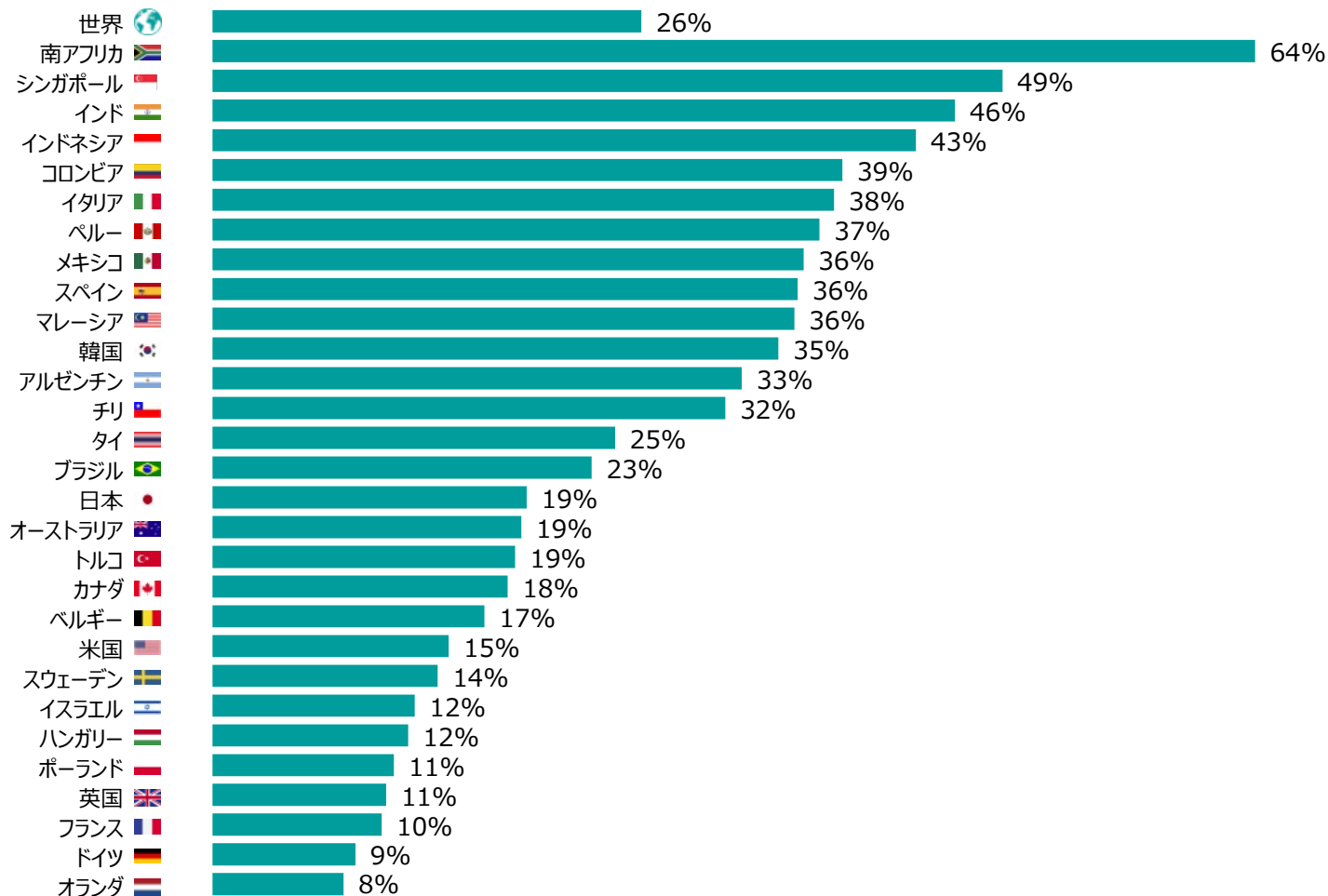
貧困/社会的な不平等は、先月と変わらず3分の1弱（31%）が懸念事項として挙げています。

インドネシアは3カ月連続で、貧困/社会的な不平等を最も懸念しており、44%が懸念を示しています。また、金融/政治腐敗に次いで、同国の2番目に大きな懸念事項となっています。

ベルギーの3分の1(32%) が、この問題を自国の大きな懸念事項として挙げており、先月から6ポイント上昇しました。税金とインフレに次いで、ベルギーで3番目に大きな懸念事項となっています。

貧困/社会的な不平等を自国の最大の懸念事項とする国は、ブラジル（43%）、オランダ（40%）、そして日本（34%）の3カ国となっています。

4 | 失業



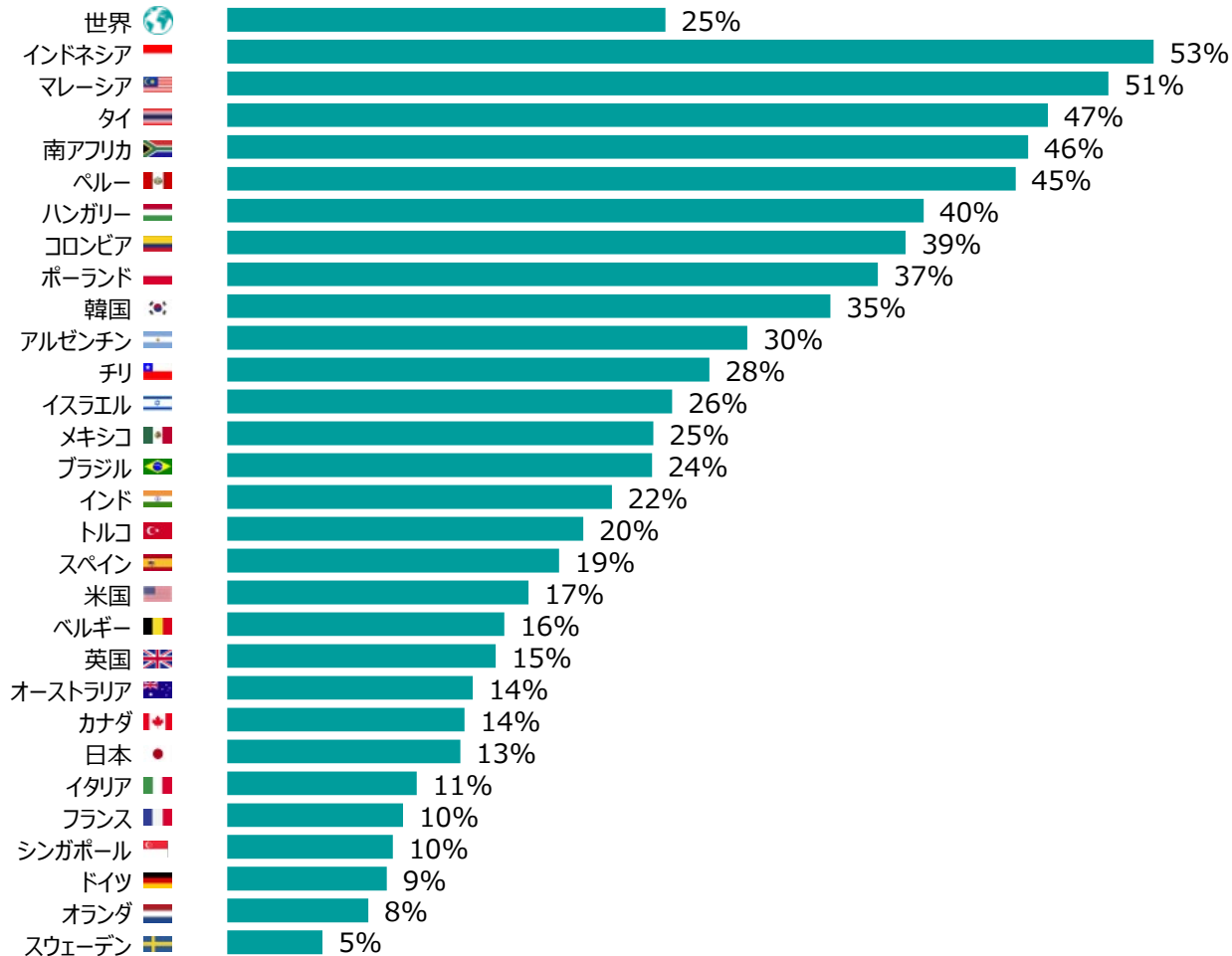
29カ国で4人に1人（26%）が、自国における最大の懸念事項のひとつに失業を挙げています。この懸念レベルは先月と変わりません。

シンガポール人の半数（49%）は、失業を主な懸念事項の一つに挙げています。これは先月から14ポイントの増加で、同国における今年の最高値を記録しました。インフレに次いで、シンガポールで2番目に大きな懸念事項となっています。

インドは3番目に懸念を示している国で、7ポイント上昇し、46%に達しました。

南アフリカは失業を最も懸念しており、64%が懸念事項として選択しています。南アフリカ人は2021年4月以来、最も懸念を抱いています。

5 | 経済／政治の腐敗

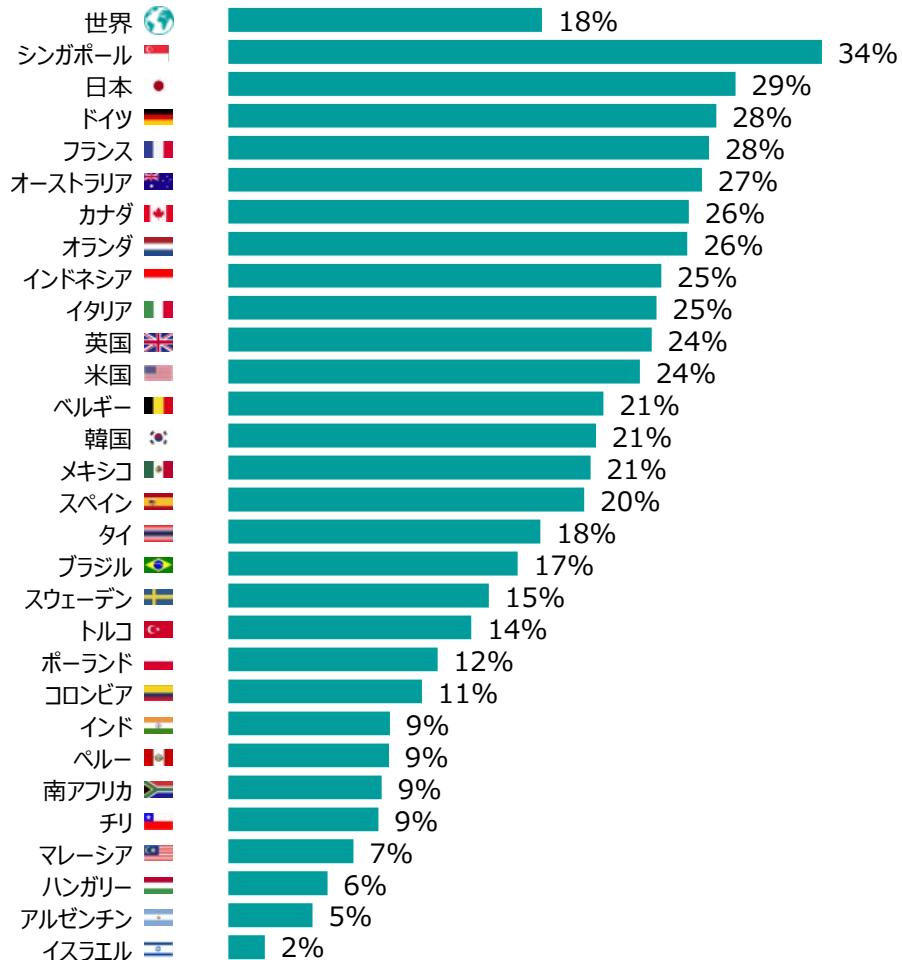


金融/政治腐敗は、「世界が懸念していること」調査の4位で、29カ国の中で4人に1人（25%）が懸念事項として挙げています。

インドネシアがトップで、半数以上（53%）が大きな問題だと回答しています。2022年8月以来、この国のトップの懸念事項であり続けています。マレーシア（51%）、タイ（47%）、コロンビア（39%）もリストのトップに挙げています。

ハンガリーでは現在、5分の2（40%）が金融/政治腐敗を選んでおり、これは先月から6ポイント低下しました。ペルーも似たような動きをみせており、6ポイント減の45%となっています。同様に、チリは9月から順位を下げ、2023年9月と比較して8ポイント減少しました。

7 | 気候変動

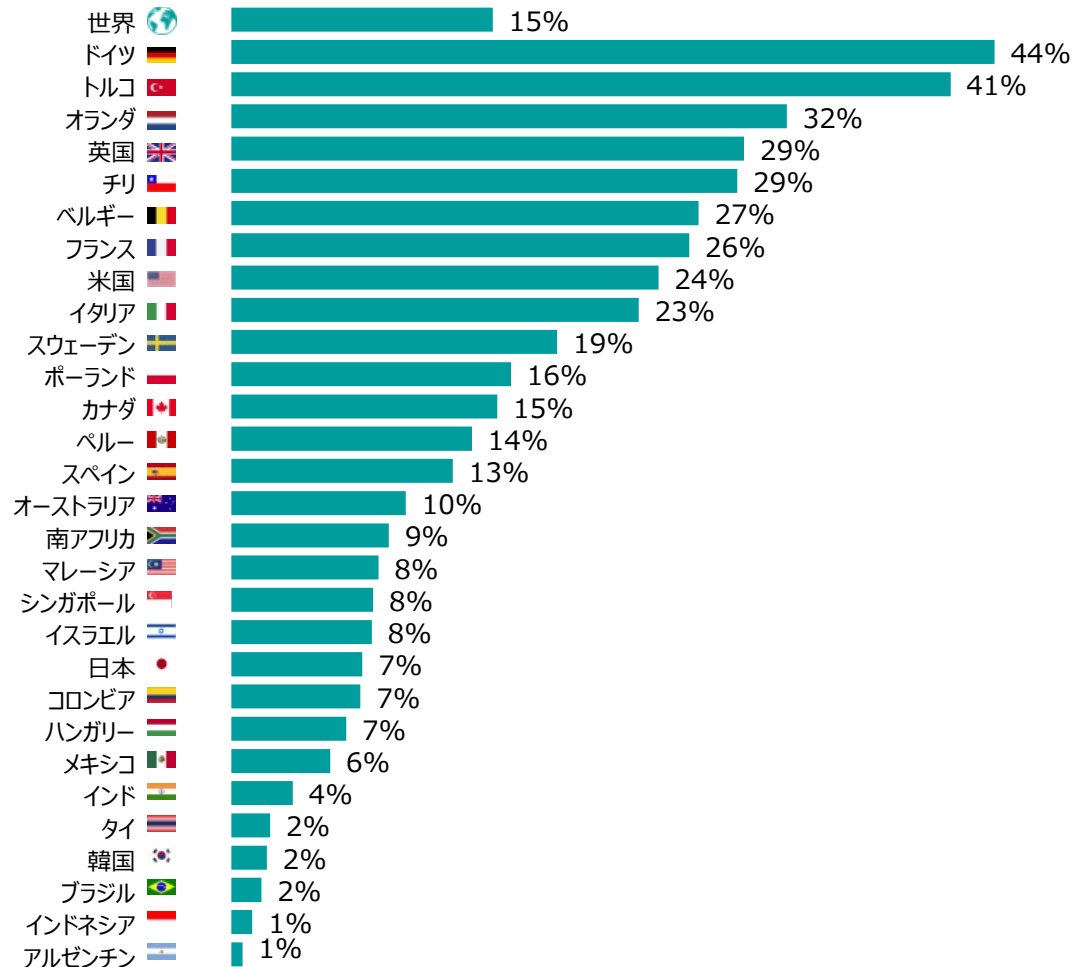


5人に1人弱（18%）が気候変動を自国の主な課題として選んでいます。「世界が懸念していること」調査では7位で、ヘルスケアと税金の間に位置しています。世界的な懸念の割合は先月より1ポイント低く、2022年10月より1ポイント高くなっています。

最も懸念を示しているのはシンガポールで、34%が自国の懸念事項に挙げ、先月より3ポイント上昇しました。9月に最も懸念を示していた日本は、3ポイント低下し、29%が懸念事項に挙げています。しかし、日本での懸念は高まっています。今月まで、気候変動に対する懸念は過去6カ月で増加しており、2022年10月と比較すると6ポイント上昇しています。

その他、メキシコが前年同月比8ポイント上昇、韓国が同4ポイント増加と、12ヶ月前と比較して顕著な伸びを示しました。

9 | 移民規制

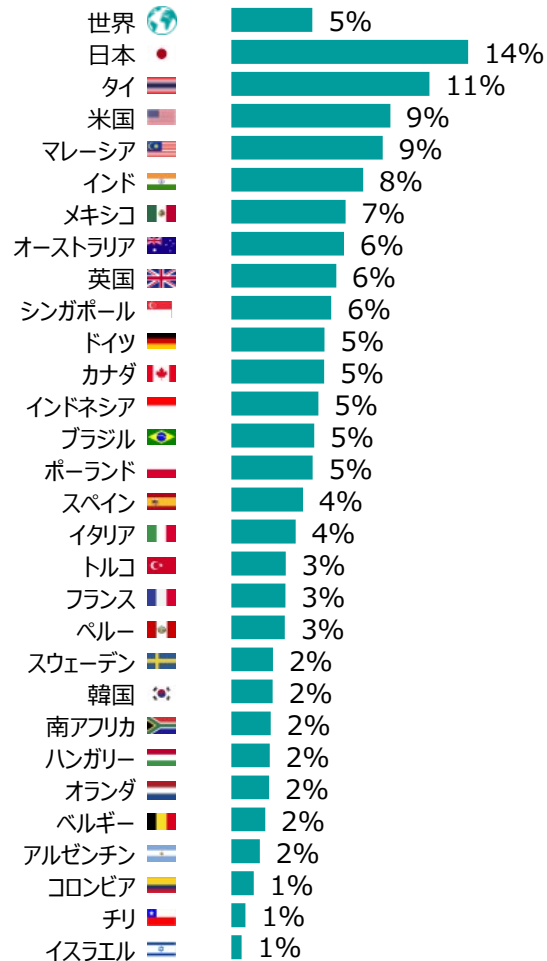


移民規制は、「世界が懸念していること」調査における18の懸念事項のうち9位にランクされ、世界の15%が懸念事項に挙げています。これは先月より2ポイント高く、2022年10月より4ポイント高くなっています。

ヨーロッパでは他の地域に比べ懸念の割合が高くなっています。ドイツは現在最も懸念が強い国で、44%が懸念事項として挙げています。懸念の割合は先月より11ポイント上昇し、2022年10月以来26ポイント上昇しています。これは、47%が移民を問題視した2016年2月以来の高水準となっています。

今月、顕著な上昇を示した他の国には、チリ（+5ポイント）、米国（+5ポイント）、スウェーデン（+7ポイント）があります。

17 | 新型コロナウイルス（COVID-19）



新型コロナウイルスは、「世界が懸念していること」調査における18の懸念事項のうち17位にランクされています。この問題を懸念事項として選択したのはわずか5%で、クレジットへのアクセス（2%）が唯一、新型コロナウイルスよりも懸念の割合が低くなっています。

29カ国における懸念は今月1ポイント上昇しました。最も懸念を示しているのは日本で、15%が懸念事項に挙げています。タイは2位で11%が懸念を示しています。

米国は3番目に懸念を示している国であり、上位5カ国の中で唯一アジア以外の国となっており、9%が懸念事項に挙げています。先月に比べ、2023年10月はアメリカ人の懸念の割合は3ポイント上昇しました。

経済への注目

自国の経済状況

イプソスの「世界が懸念していること調査 (What Worries the World) 」と並び、毎月実施されている「世界消費者信頼感調査」は、29カ国の一般消費者を対象に、国と個人のレベルにおける経済と金融について調査を実施しています。

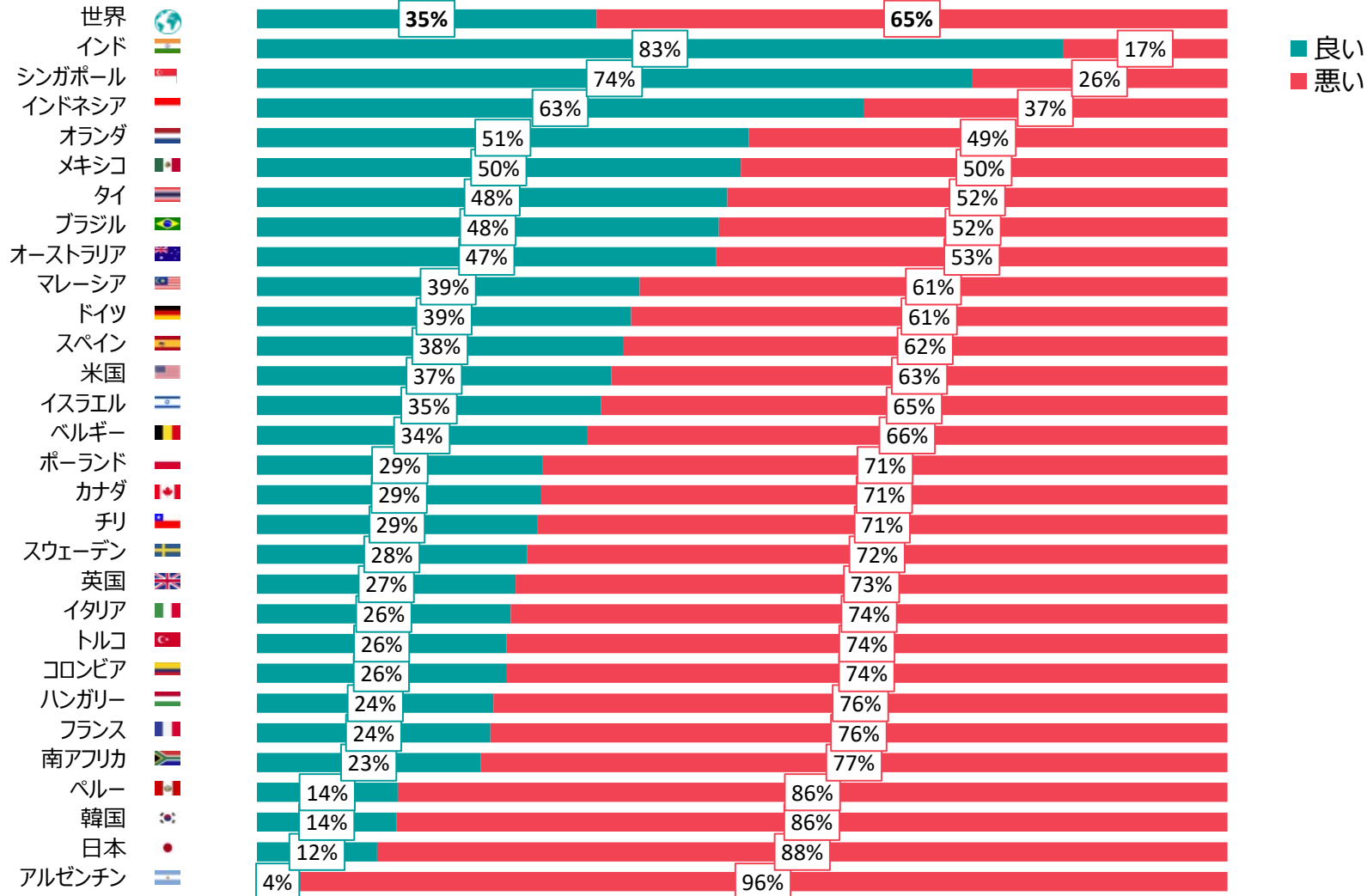
以下のセクションでは、このデータの一部を用いて、今月の「世界が懸念していること調査」レポートの背景を説明しています。これは、国民が自国の現在の経済情勢をどのように評価しているかを示すものです。

詳しくはTeodros.Gebrekal@Ipsos.comまでお問い合わせください。



現在の経済状況

Q 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？



経済に関する認識の詳細については、イプソス・グローバル消費者信頼感調査をご確認ください。また、[Ipsos Global Economic Indicator portal](#) でデータをご覧ください。

前月比9ポイント増で、インドはさらに順位を上げ、10人に8人以上（83%）が自国の経済状況を肯定的に評価しています。

トルコ（+9ポイント）、ハンガリー、チリ、ブラジル（各+9ポイント）は、先月から最も経済に対する肯定的な見方を強めています。

一方、マレーシアは14ポイント減少の39%を記録しました。ベルギー（-8ポイント）とカナダ（-6ポイント）も前月比で顕著な落ち込みを見せています。

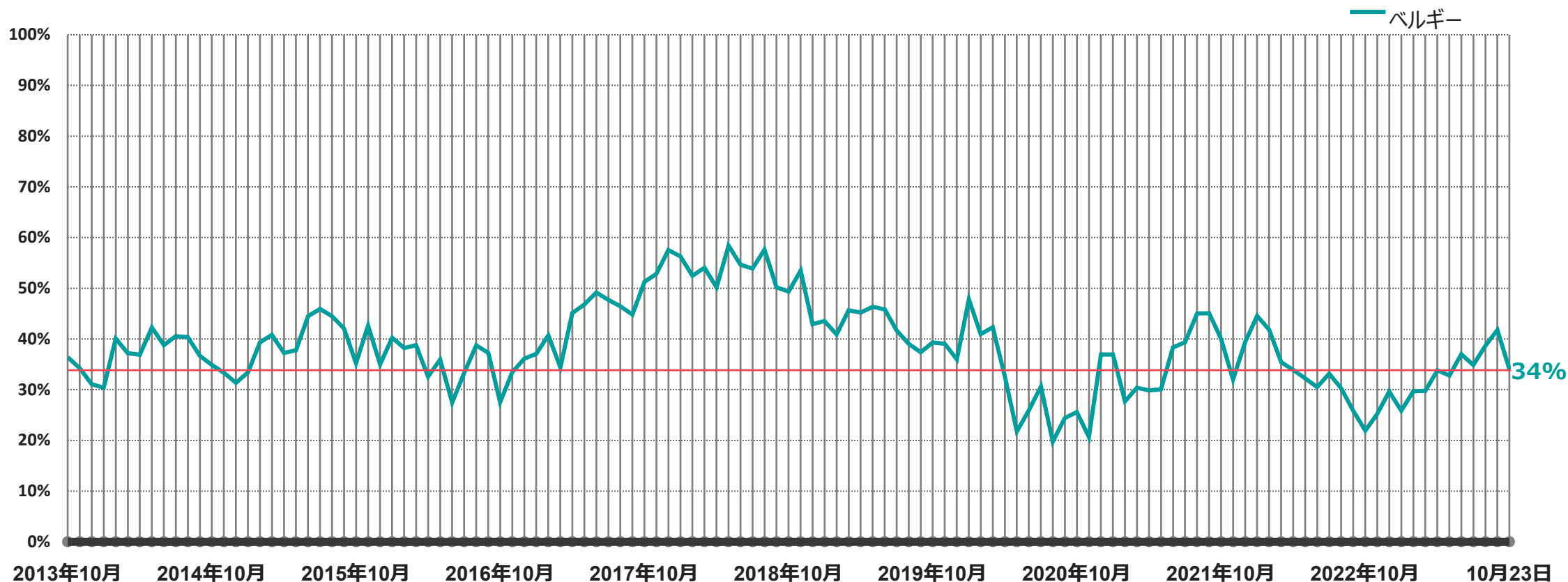
スウェーデンのスコアは先月から3ポイント下がり、過去最低を記録しました。

6ポイントの減少で、カナダはパンデミックの最盛期以外では最低の、自国の経済状況を「良い」とするスコアを記録しました。

現在の経済状況：ベルギー

ベルギーの経済状況を「良い」とするスコアは今月8ポイント低下し、2021年11月（同じく8ポイント低下）以来の前月比での大幅な低下となった。

Q 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



ベース：調査対象29カ国の16～74歳の代表サンプル、25,220人。2023年9月22日～2023年10月6日に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

23 © Ipsos | 世界が懸念していること

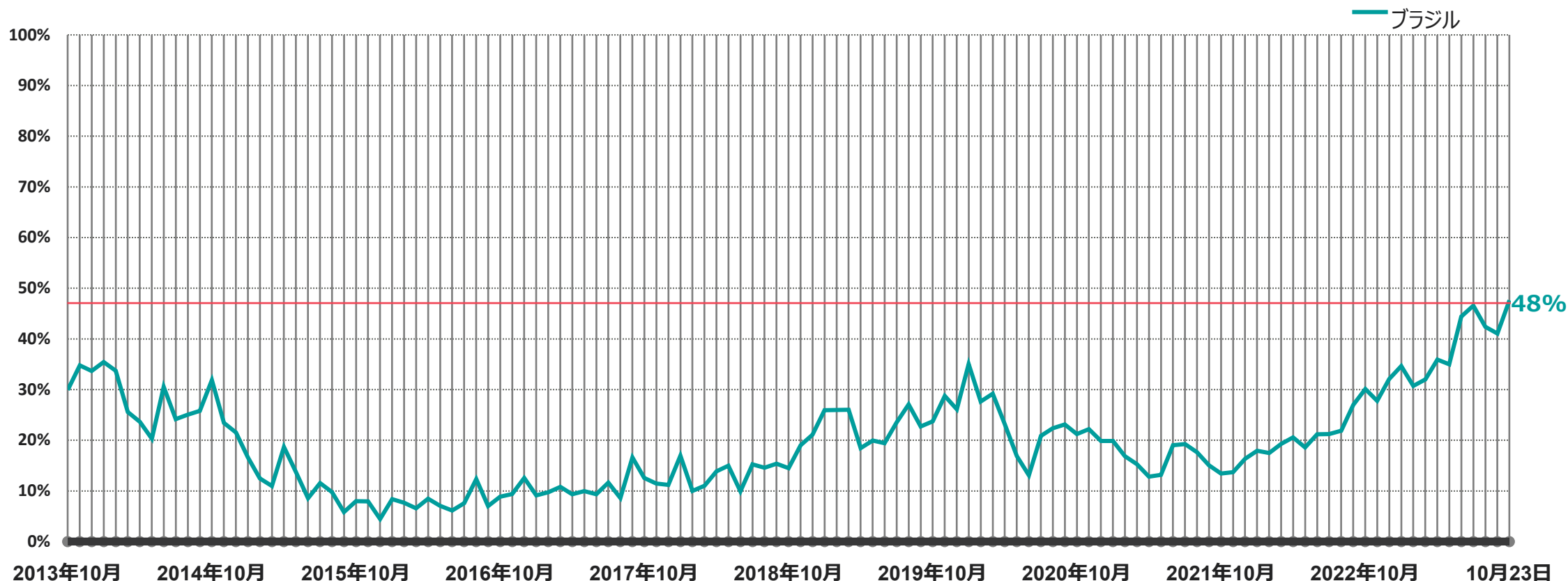
Filter: Country: World | Current Wave: Oct 23



現在の経済状況：ブラジル

ブラジルのスコアは半数近く（48%）に達し、調査史上最高となった。

Q 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



ベース：調査対象29カ国の16～74歳の代表サンプル、25,220人。2023年9月22日～2023年10月6日に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

24 © Ipsos | 世界が懸念していること

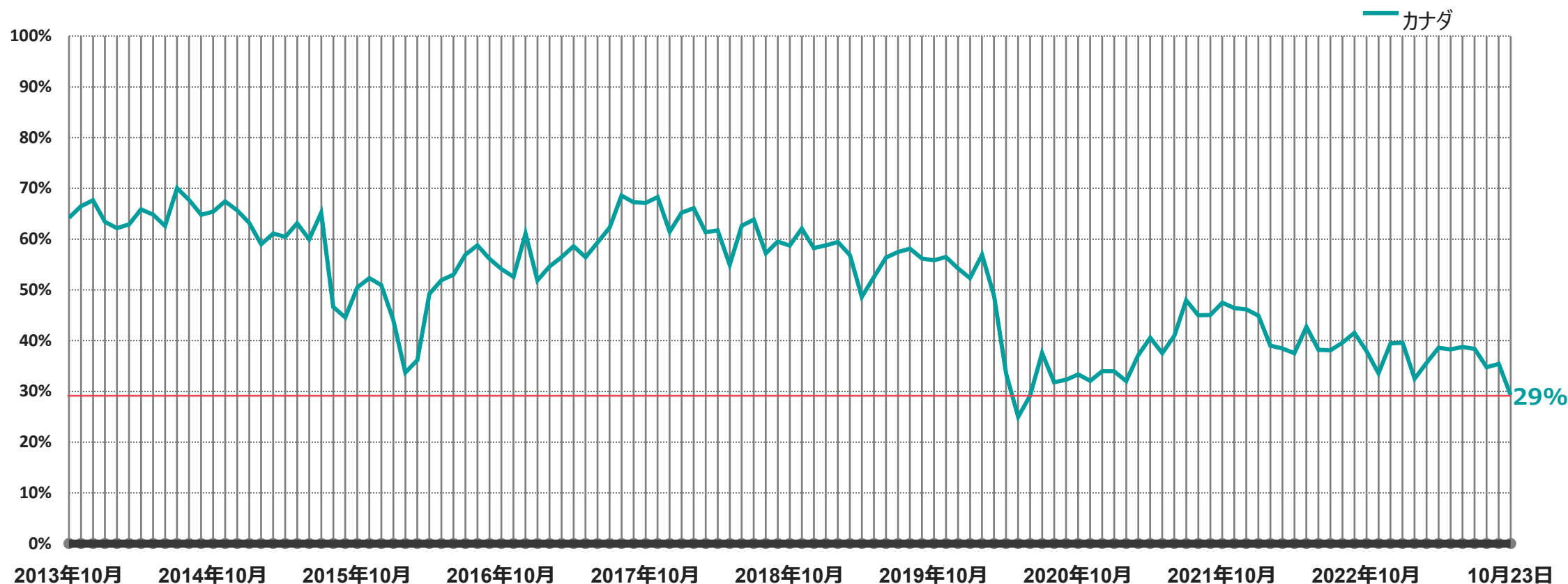
Filter: Country: World | Current Wave: Oct 23



現在の経済状況：カナダ

6ポイントの低下で、カナダは2020年6月と並んで過去2番目に低いスコアを記録し、2020年5月(25%)に次ぐ低さとなった。

Q 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



ベース：調査対象29カ国の16～74歳の代表サンプル、25,220人。2023年9月22日～2023年10月6日に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

25 © Ipsos | 世界が懸念していること

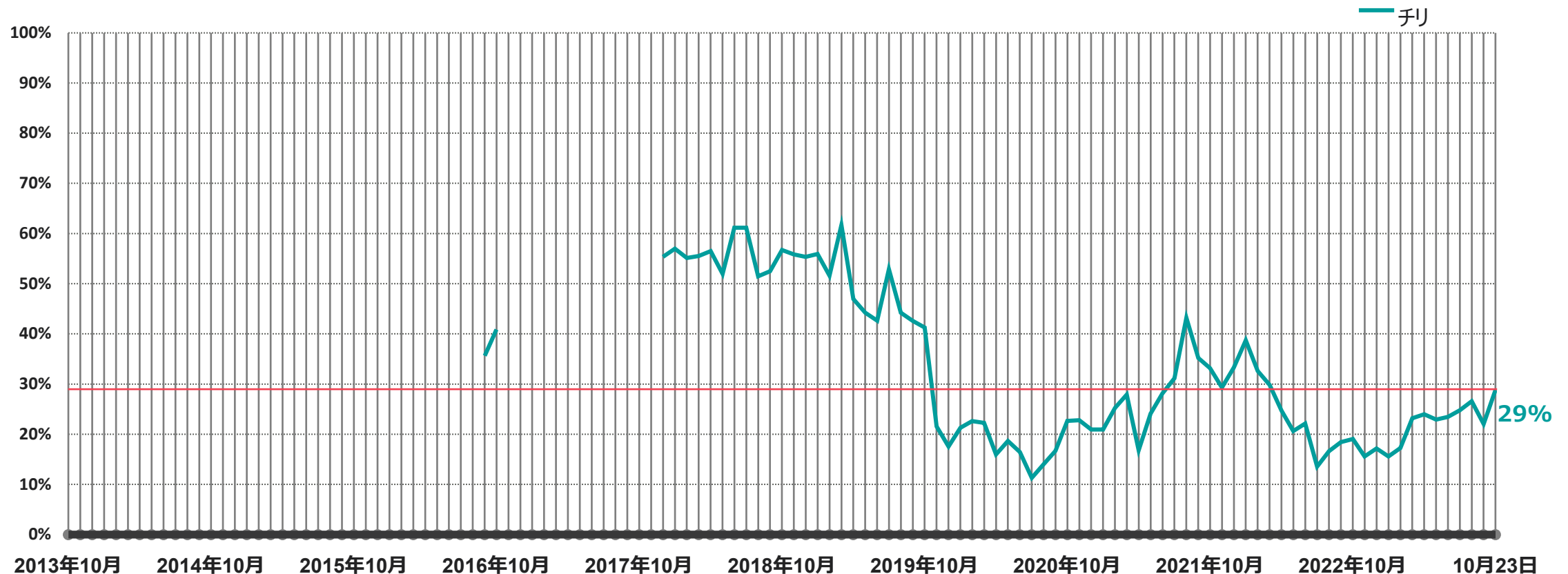
Filter: Country: World | Current Wave: Oct 23



現在の経済状況：チリ

チリでは肯定的な経済への認識が着実に強まっている。今月は2022年3月（30%）以来の高スコアとなった。

Q 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



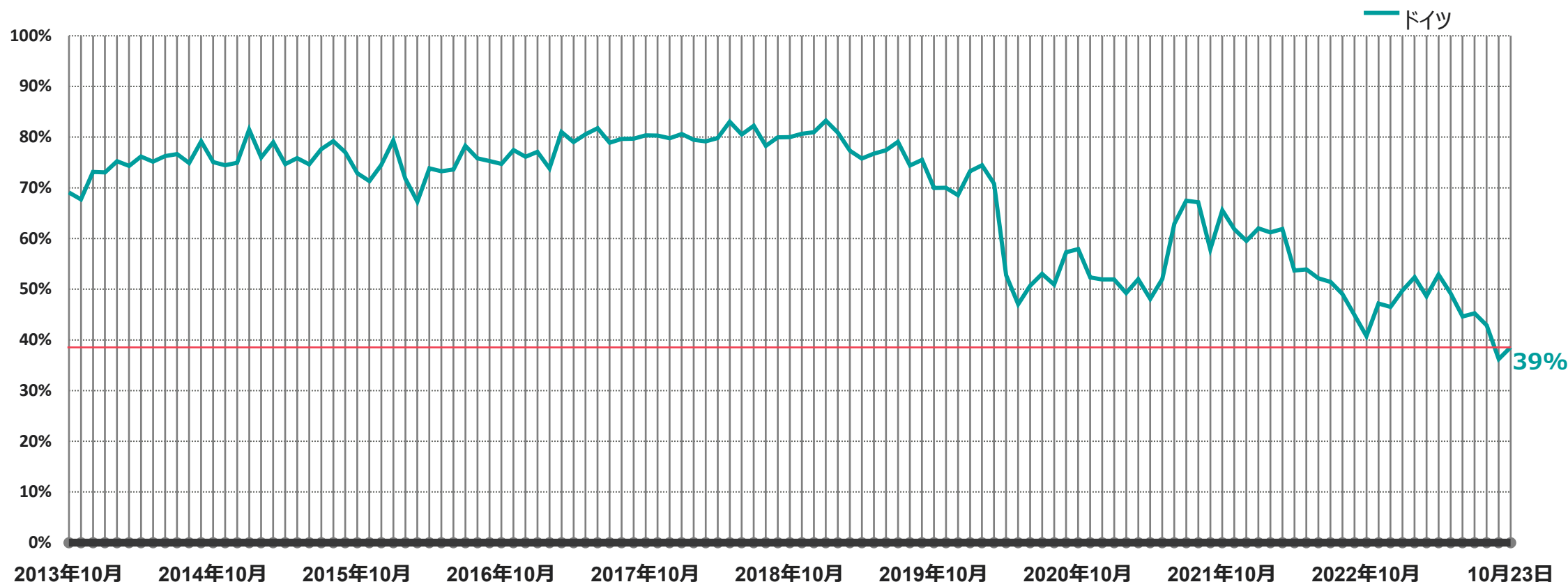
ベース：調査対象29カ国の16～74歳の代表サンプル、25,220人。2023年9月22日～2023年10月6日に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

現在の経済状況：ドイツ

ドイツの経済的見通しは先月から悪化してはいないが、依然として歴史的な低水準にある。

Q 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



ベース：調査対象29カ国の16～74歳の代表サンプル、25,220人。2023年9月22日～2023年10月6日に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

27 © Ipsos | 世界が懸念していること

Filter: Country: World | Current Wave: Oct 23



現在の経済状況：インド

9ポイントの上昇により、インドは今年最高の景気が「良い」とするスコアを記録した。

Q 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



ベース：調査対象29カ国の16～74歳の代表サンプル、25,220人。2023年9月22日～2023年10月6日に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

28 © Ipsos | 世界が懸念していること

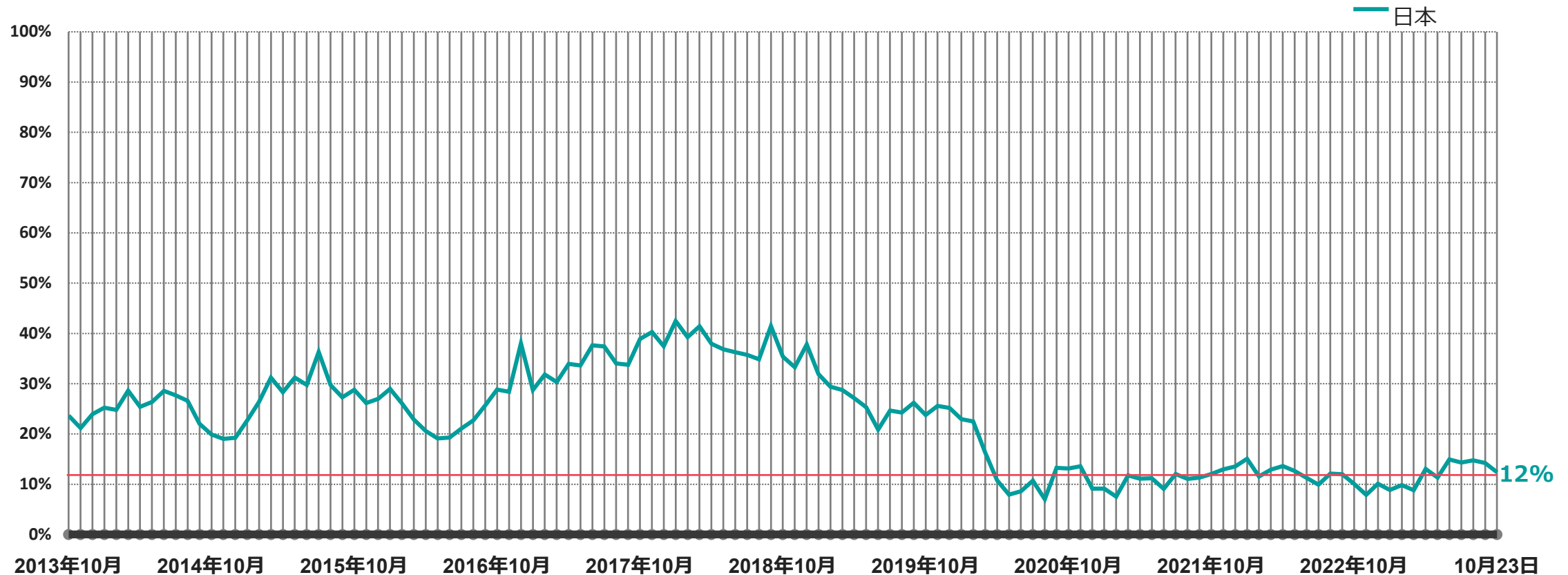
Filter: Country: World | Current Wave: Oct 23



現在の経済状況：日本

日本は夏に上昇したが、今月は2ポイント低下した。

Q 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



ベース：調査対象29カ国の16～74歳の代表サンプル、25,220人。2023年9月22日～2023年10月6日に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

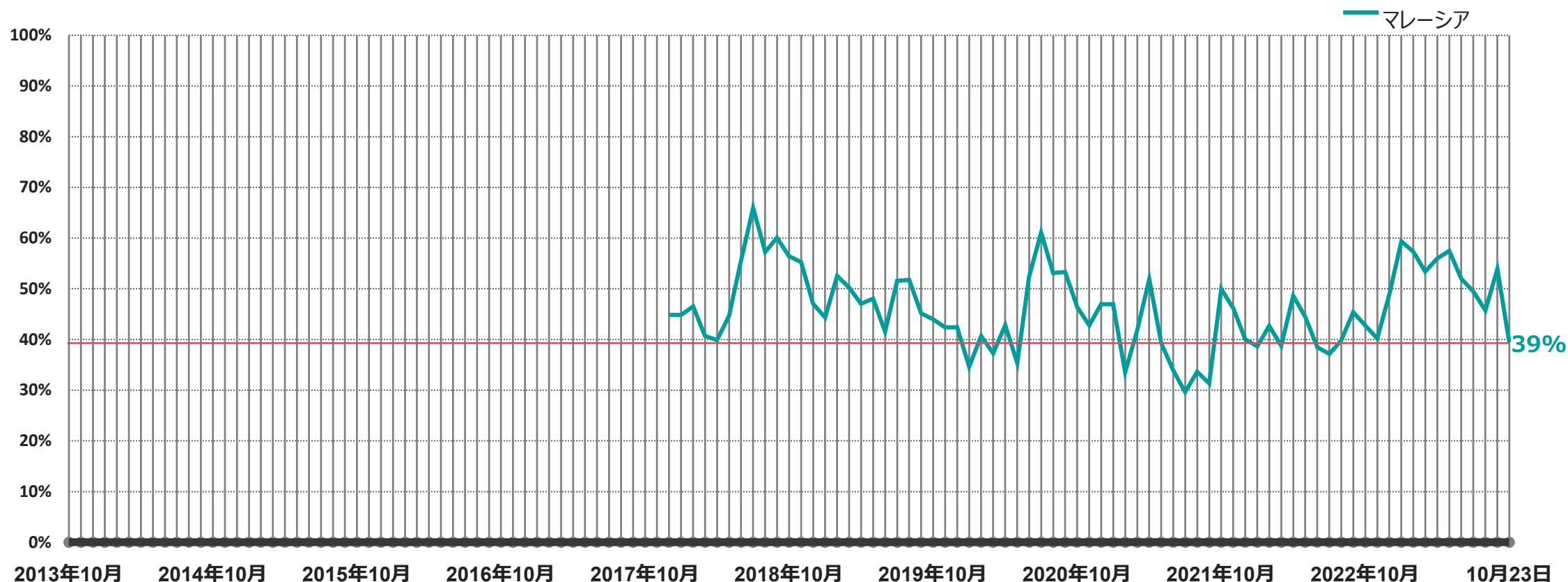
29 © Ipsos | 世界が懸念していること

Filter: Country: World | Current Wave: Oct 23

現在の経済状況：マレーシア

マレーシアは今月、経済状況を「良い」とするスコアを14ポイント下げた。

Q 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



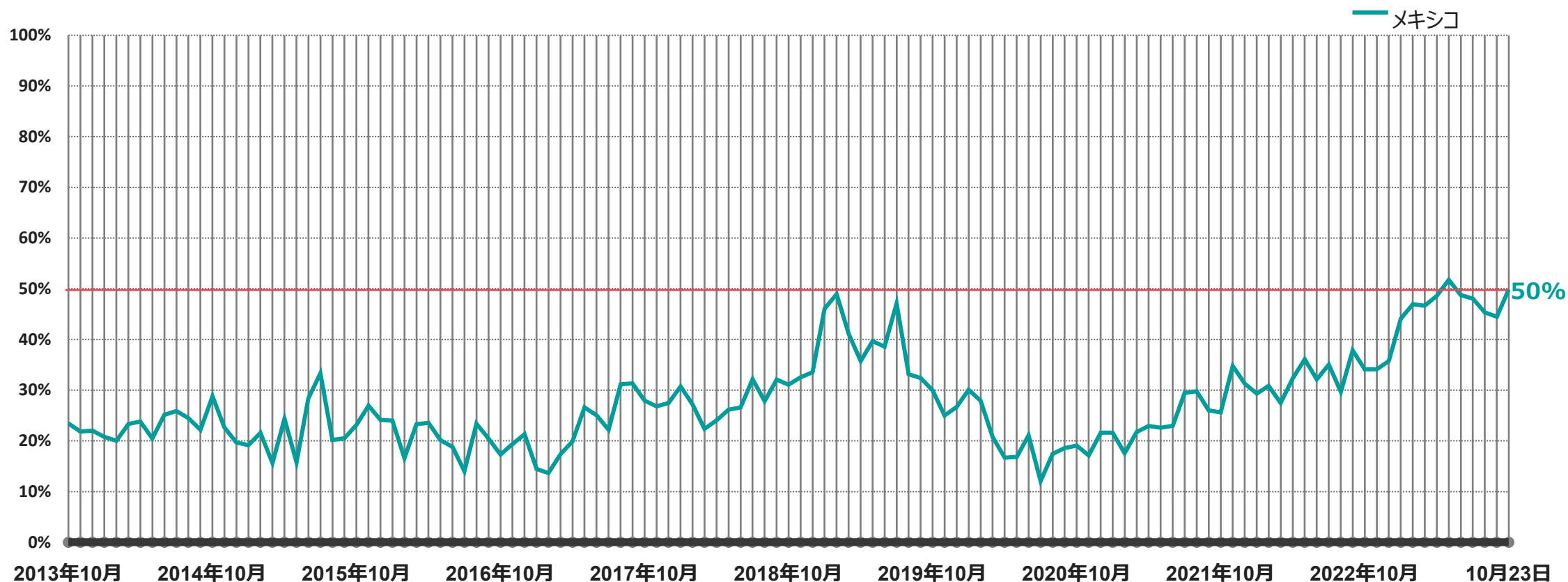
ベース：調査対象29カ国の16～74歳の代表サンプル、25,220人。2023年9月22日～2023年10月6日に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

現在の経済状況：メキシコ

メキシコは今月6ポイント上昇し半数に達する。ほぼ記録的な水準に達している。

Q 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



ベース：調査対象29カ国の16～74歳の代表サンプル、25,220人。2023年9月22日～2023年10月6日に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

31 © Ipsos | 世界が懸念していること

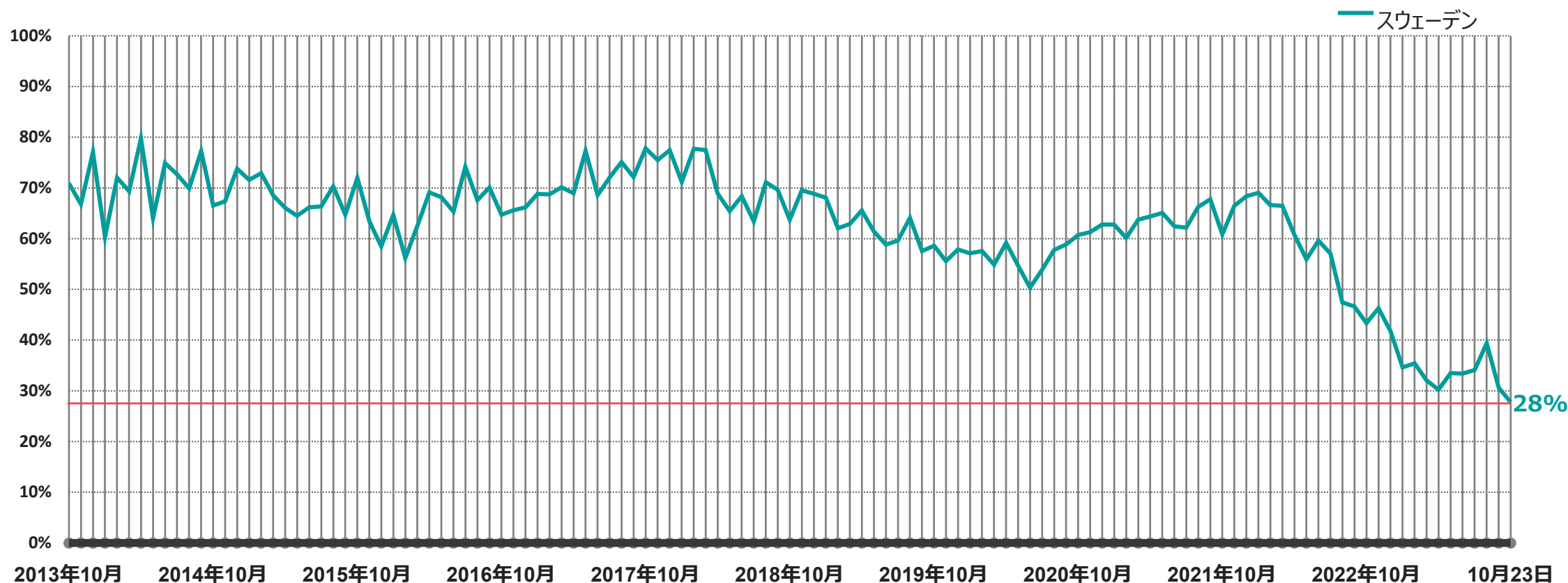
Filter: Country: World | Current Wave: Oct 23



現在の経済状況：スウェーデン

ひと夏の休息後、スウェーデンの経済への肯定的な認識は着実に低下している。今月は新たに過去最低を記録した。

Q 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



ベース：調査対象29カ国の16～74歳の代表サンプル、25,220人。2023年9月22日～2023年10月6日に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

32 © Ipsos | 世界が懸念していること

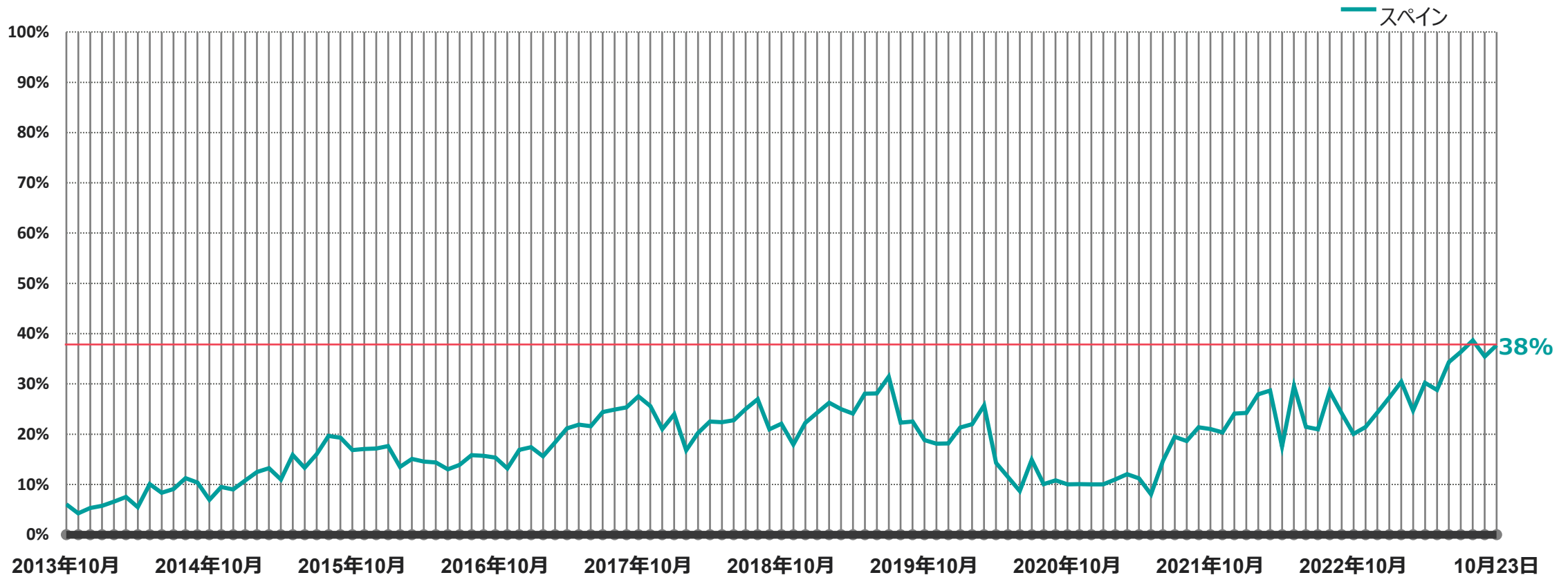
Filter: Country: World | Current Wave: Oct 23



現在の経済状況：スペイン

スペインのスコアは先月から3ポイント上昇した。

Q 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



ベース：調査対象29カ国の16～74歳の代表サンプル、25,220人。2023年9月22日～2023年10月6日に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

33 © Ipsos | 世界が懸念していること

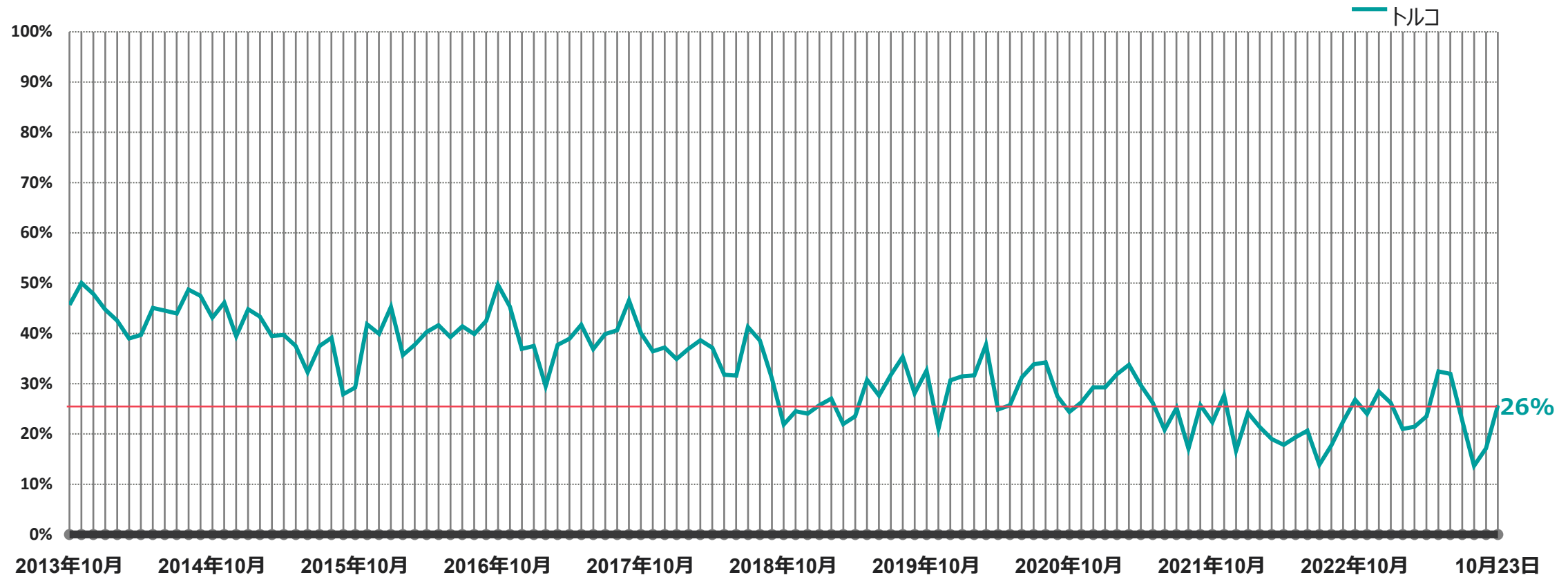
Filter: Country: World | Current Wave: Oct 23



現在の経済状況：トルコ

トルコの経済状況を「良い」とするスコアは今月9ポイント上昇した。

Q 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



ベース：調査対象29カ国の16～74歳の代表サンプル、25,220人。2023年9月22日～2023年10月6日に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

調査手法

この29カ国のグローバルアドバイザー調査は、2023年9月22日～10月6日にかけてカナダ、イスラエル、マレーシア、南アフリカ、トルコ、米国の18～74歳、インドネシアとタイの20～74歳、シンガポールの21～74歳、その他の国の16～74歳の、合計20,570人を対象に、イプソスのオンライン調査プラットフォームで実施された。

「世界各国平均」は、調査を実施したすべての国の平均値である。各国の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。

サンプルは、オーストラリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、フランス、ドイツ、英国、イタリア、イスラエル、日本、メキシコ、スペイン、スウェーデン、米国の各1000人以上、アルゼンチン、チリ、コロンビア、ハンガリー、インド、インドネシア、マレーシア、オランダ、ペルー、ポーランド、シンガポール、南アフリカ、韓国、タイ、トルコの各500人以上からなる。

アルゼンチン、オーストラリア、ベルギー、カナダ、フランス、ドイツ、英国、ハンガリー、イタリア、日本、オランダ、ポーランド、韓国、スペイン、スウェーデン、米国のサンプルは、その国の75歳未満の一般人口を代表しているとみなすことができる。

ブラジル、チリ、コロンビア、インド、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ペルー、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。これらの市場の調査結果は、人口のうち、より「コネクテッド」な層の意見を反映していると言えるだろう。

人口統計のバランスをとり、サンプル構成が最新の国勢調査データを反映した成人人口の構成比になるよう、ウェイト付けが行われている。

イプソスのオンライン調査の精度は、1,000人の世論調査は±3.5パーセントポイント、500人の世論調査の場合は±5.0パーセントポイントの信頼区間を用いて計算されている。イプソスの信頼区間の使用に関する詳細は、イプソスのウェブサイトを参照のこと。

パーセンテージの合計が100にならない場合、または「差」が実際より+/-1多いまたは少なく見える場合は、四捨五入、複数回答、「わからない」または未回答の除外による可能性がある。

本調査結果の公表は、現地の規則に従う。